

令和 2年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名：産業支援課
 担当名：技術支援担当
 内線：3777

(単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業		
B20	Designを活用した課題解決支援事業			一般会計	商工費	商工業費	産業技術総合センター費	産業技術総合センター運営費		
事業期間	令和 2年度～	根拠法令	なし				宣言項目	08 稼ぐ力の向上		
							分野施策	040832 変化に向き合う中小企業と小規模事業者の支援		
1 事業概要 県内中小企業が抱える事業化に向けた課題に対して、商品企画から販路開拓までの自主的な課題解決を支援することで、新製品開発や新技術開発を推進する。 (1) Design活用支援事業 △2,060千円 コロナ禍によるデザイン塾開催日数の短縮、開催方法の見直し、研修等の参加機会の減少及び事務費の節減により生じた執行残の減				5 事業説明 (1) 事業内容 デザイン思考に基づき、自社技術を活かした独自性のある新商品の開発（新規市場の創出）を支援するとともに、外部の専門家と連携して課題の解決を支援する。 (2) 事業計画 ア Design活用支援事業 3,781千円 産業技術総合センターにデザイン支援担当職員2名（会計年度任用職員）を配置し、新たに設置するデザイン支援総合窓口での課題相談へ対応するとともに、企業が抱える課題分析や商品企画を支援する。 イ 技術的課題解決支援事業 0千円 豊富な知識や経験を有する外部専門家（コンシェルジュ、サポーター）と、産業技術総合センター職員が一体となり、自主的な課題解決に取り組む企業を支援する。 (3) 事業効果 企業の自主的な課題解決を支援し、事業化の推進を図ることにより、グッドデザイン賞等の獲得を目指す。 (4) 県民・民間活力、職員のマンパワー、他団体との連携状況 （公財）埼玉県産業振興公社、（公社）埼玉デザイン協議会、民間企業経験者等と連携して実施する。 (5) その他 既存の技術アドバイザー指導事業を統廃合して、支援スキームを一本化する。 (6) 補正予算の概要 コロナ禍によるデザイン塾開催日数の短縮、開催方法の見直し、研修等の参加機会の減少及び事務費の節減により生じた執行残の減						
2 事業主体及び負担区分 （事業者1/3・県2/3）										
3 地方財政措置の状況 地方交付税措置あり 工業技術センター費										
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×4人=38,000千円										
予算額		財 源 内 訳							一般財源	補正後の 予算額
決定額	△2,060	諸収入	△650						△1,410	1,721
現計額	3,781		750						3,031	